

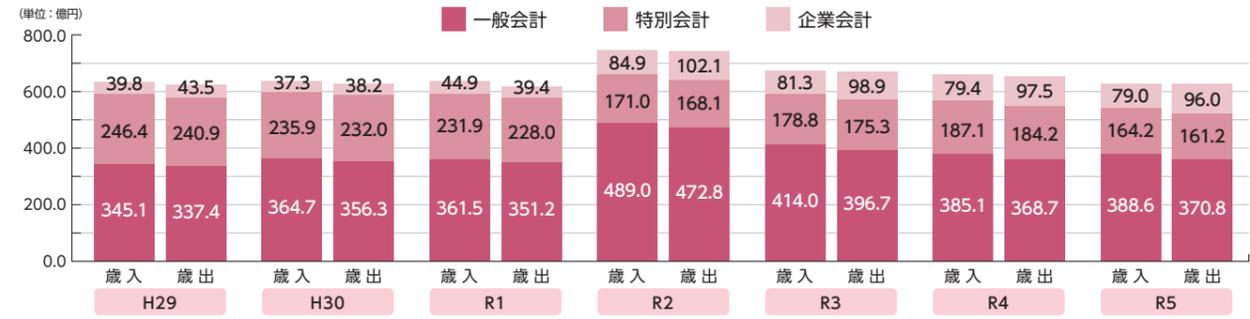
特別会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
土地取得造成事業特別会計	205万円	205万円	0円
指龍公平委員会事業特別会計	75万5千円	49万円	26万5千円
国民健康保険事業特別会計	79億7,931万8千円	79億3,264万円	4,667万8千円
後期高齢者医療事業特別会計	12億6,134万2千円	12億3,105万6千円	3,028万6千円
介護保険事業特別会計	70億7,173万8千円	68億4,186万6千円	2億2,987万2千円
病院事業債管理事業特別会計	1億970万8千円	1億970万8千円	0円

企業会計決算

会計名	区分	収入決算額	支出決算額
水道事業会計	収益	10億6,991万3千円	9億4,387万7千円
	資本	1億2,951万2千円	5億1,895万7千円
下水道事業会計	収益	46億6,658万4千円	44億6,945万3千円
	資本	19億3,264万3千円	34億9,321万6千円
国民宿舎事業会計	収益	1億439万9千円	1億7,307万7千円
	資本	0円	0円

歳入歳出決算額の推移



健全化判断比率

指標の種類	国が示す基準		たつの市
	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	12.32%	20.00%	実質赤字額なし
連結実質赤字比率	17.32%	30.00%	連結実質赤字額なし
実質公債費比率	25.0%	35.0%	7.2%
将来負担比率	350.0%	-	-

資金不足比率

会計名	国が示す基準		たつの市
	経営健全化基準	たつの市	
水道事業会計	20.0%	資金不足額なし	
下水道事業会計	20.0%	資金不足額なし	
国民宿舎事業会計	20.0%	資金不足額なし	

【財政指標でみると?】
健全化判断比率と資金不足比率は財政状況が良好かどうかを示す指標です。基準値を超えると財政状況が悪いと判断されますが、本市では全て基準値以下のため、財政状況は健全です。

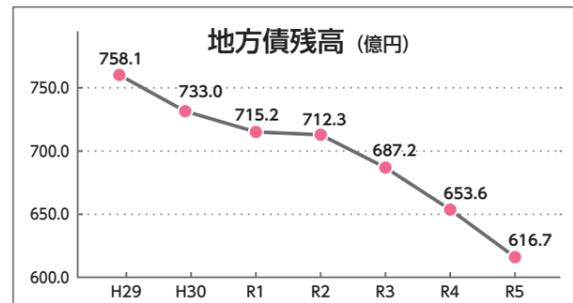
※将来負担額を充当可能財源等が上回ったため、将来負担比率は算定されません。

用語解説

- **実質赤字比率**: 標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合です。
 - **連結実質赤字比率**: 標準財政規模に対する全会計の赤字の割合です。
 - **実質公債費比率**: 標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
 - **将来負担比率**: 標準財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合です。
 - **資金不足比率**: 公営企業の事業の規模に対する資金不足額の割合です。
- ※標準財政規模: 通常収入されるであろう一般財源の額(規模)

地方債残高と基金現在高について

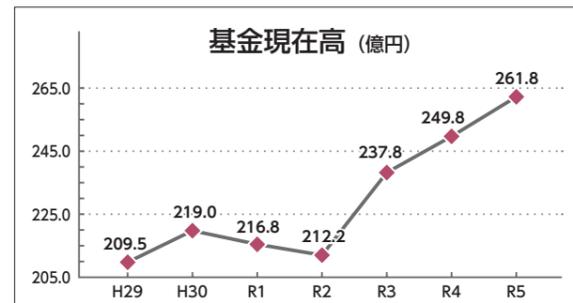
地方債 市全体の借金は36.9億円減少



地方債は自治体の借金のことです。昨年度に引き続き、計画的な借入を行い、市全体の地方債残高が36.9億円減少しました。これは、新規借入れよりも過去の借入れの償還が進んでいるため、今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

※市民1人当たりに関するものについては、令和6年3月31日現在の人口、72,843人を基に算出しています。また、千円単位の決算額を基に計算し、単位未満の端数については四捨五入しています。

基金 市全体の貯金は3年連続増加



基金は自治体の貯金のことです。令和5年度は、財政調整基金、公共施設整備基金などに積立を行ったことや、基金の取り崩しを抑えたことにより、基金の残高が約12億円増加しました。将来の公共施設の整備に備え、今後も計画的な積立を行い、健全な財政運営に努めていきます。

令和5年度 たつの市決算状況

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納められた税金がどのように使われているかお知らせしています。 ▶ 財政課 (☎64・3143)

一般会計 決算

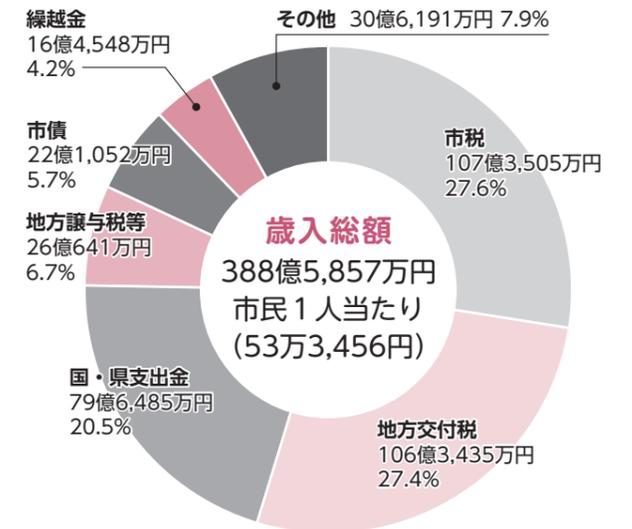
歳入 388億5,857万2千円 **歳出 370億7,573万2千円**
歳入歳出差引額: 17億8,284万円 **実質収支黒字額: 15億4,579万5千円**
(※歳入歳出差引額から翌年度繰越財源 2億3,704万5千円を除いた額)

市税	皆さんから納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)
地方交付税	国税(所得税・法人税等)の一定の割合の額が財政力に応じて交付された資金
国・県支出金	国や県から一定の割合で交付された補助金等
市債	道路などの建設事業等のための借入金
その他	繰入金、負担金、諸収入等

市税の内訳

	決算額	市民1人あたりの決算額
市民税(個人)	35億7,603万7千円	4万9,092円
市民税(法人)	6億4,281万4千円	8,825円
固定資産税	51億5,803万7千円	7万810円
軽自動車税	2億9,776万1千円	4,088円
市たばこ税	5億1,447万6千円	7,063円
都市計画税	5億4,346万2千円	7,461円
入湯税	246万7千円	34円
合計	107億3,505万4千円	14万7,373円

歳入



1 子ども、高齢者、障害者への福祉サービスのために(民生費:130億1,210万円)

主な実施事業: 扶助費、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業、総合隣保館整備事業

5 予防接種や健康増進事業の実施、ゴミ・し尿の処理のために(衛生費:25億3,229万円)

6 借入金の返済、議会運営、農商工業の発展、防災対策のために(その他:85億5,332万円)

2 道路や公園などの整備、市営住宅の管理運営のために(土木費:58億1,306万円)

主な実施事業: 竜野駅周辺整備事業、道路ストック総点検事業(道路構造物)、龍野IC周辺まちづくり区画整理事業、道路新設改良事業

3 教育や教育施設の維持管理、文化スポーツの振興のために(教育費:40億5,376万円)

主な実施事業: 放課後児童クラブ施設整備事業、小中一貫校整備事業、通学支援事業(ひんやり背あてパッド配布)

4 市役所の管理や住民票の発行、選挙の執行のために(総務費:31億1,120万円)

歳出

